

公益財団法人
生協総合研究所
2015年度公開研究会

「超」高齢社会をどう迎えるか？

「2050研究会」から地域社会と生協への提言-

公開研究会は研究成果の報告、議論の場としてどなたでもご参加いただけます。

2050年には、日本の人口のほぼ3人に1人が70歳以上になる。年齢構成をみると必然的に「大介護」の時代となる一方、70歳代でも10人に9人は「自立して生活できる元気な高齢者」であると想定されている。少子、「超」高齢、人口減少、単身、元気な高齢者、これらが2050年への潮流である。くらしと地域が変容するこの未来に向けて、私たちはどのように創造的に適応していくのか。その検討を始めよう。

第6回公開研究会

岡山会場 2月19日(金) 13:00~16:00
おかやまコープ オルガホール

第7回公開研究会

福岡会場 2月20日(土) 13:00~16:00
TKP博多駅南第1会議室

参加費 生協総合研究所の会員(団体会員の役職員含む) 無料 会員以外 1,000円

13:00

開会挨拶

13:05~13:20

趣意説明 「2050研究会の問題意識」

岡山会場: 藤井晴夫(生協総合研究所研究員)

福岡会場: 鈴木 岳(生協総合研究所研究員)

13:20~14:20

基調講演 「2050年超高齢社会のコミュニティ構想」

若林靖永(京都大学大学院教授)

14:20~14:30

休憩

14:30~15:55

パネルディスカッション

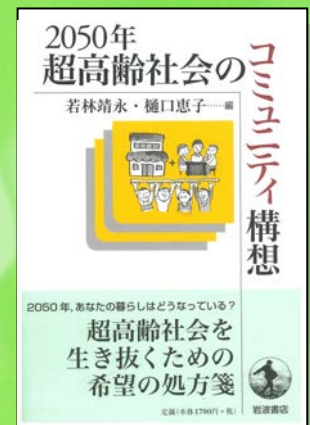
司会: 若林靖永

パネリスト: 若手生協職員、研究者および報道関係者

15:55

閉会挨拶

(16:00 終了)



高齢化と少子化が進み、総人口が一億人を割り込むと予想される2050年の日本。そのとき地域社会の鍵を握るのは

「元気な高齢者」だ!

当研究会のテーマをまとめた書籍

『2050年超高齢社会のコミュニティ構想』

を当日会場にて販売いたします。

講演者プロフィール

若林 靖永 (京都大学経営管理大学院教授、京都大学大学院経済学研究科教授)

1961年生 京都大学大学院経済研究科博士後期課程単位取得退学、博士(経済学)

著書に『顧客志向のマス・マーケティング』(同文館、2003年)、共著に『現代生協論の探求(理論編)』

(コープ出版、2010年)、『流通動態と消費者の時代』(白桃書房、2013年)ほか。

公益財団法人 生協総合研究所 中村・遠藤・茂木 行き

FAX : 03-5216-6030

E-mail : ccij@jccu.coop

● 第6回公開研究会（岡山）参加申込書（締切：2016年2月15日）

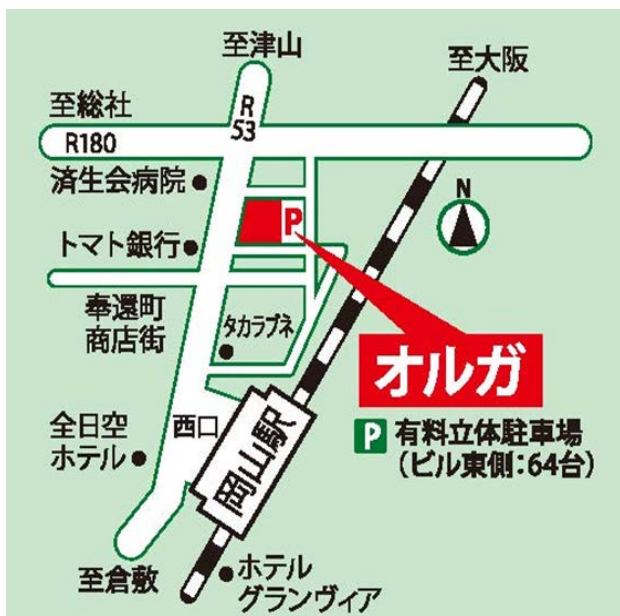
団体名			
連絡先	担当者名	担当部署	
	TEL	FAX	E-mail
参加者 氏 名	(所属・役職名)		
	(所属・役職名)		
	(所属・役職名)		

● 第7回公開研究会（福岡）参加申込書（締切：2016年2月15日）

団体名			
連絡先	担当者名	担当部署	
	TEL	FAX	E-mail
参加者 氏 名	(所属・役職名)		
	(所属・役職名)		
	(所属・役職名)		

公益財団法人 生協総合研究所 担当：中村・遠藤・茂木
 〒102-0085 東京都千代田区六番町 15 番地 プラザエフ 6F
 Tel : 03-5216-6025 Fax : 03-5216-6030

【岡山会場地図】



【福岡会場地図】

